

カテーテル治療時の末梢冠動脈拡張目的における ニトロプルシドナトリウム の使用について

実施内容	心臓カテーテル検査・治療（PCI等）施行時に、末梢冠動脈の拡張を目的としてニトロプルシドナトリウムを冠動脈内へ投与する。
対象患者	・ PCI施行中に末梢冠動脈の血流低下（no-reflow現象、slow flow）を認める患者 ・ 微小循環障害が疑われ、血流改善が必要な患者 ・ 他の血管拡張薬で十分な効果が得られない患者
承認日	2026年7月8日（承認外医薬品使用評価委員会 承認）
実施期間	承認日以降、継続的に実施する
目的・概要	冠動脈インターベンション（PCI）において、末梢冠動脈の血流障害（no-reflow現象やslow flow）は、心筋虚血の持続および予後悪化に関連する重要な合併症である。ニトロプルシドナトリウムは一酸化窒素（NO）供与体として血管平滑筋を弛緩させ、強力な血管拡張作用を示す薬剤である。本来は高血圧緊急症などに対する静脈内投与が適応とされているが、冠動脈内投与による微小循環改善効果が報告されており、実臨床において使用される場合がある。本適応外使用は、冠血流の改善および心筋虚血の軽減を目的として、適切な循環動態管理下で慎重に実施する。
予想される不利益と対策	【予想される不利益】 ・ 血圧低下（全身性血管拡張作用） ・ 頻脈または反射性心拍数増加 ・ 過度な血管拡張による虚血の悪化（steal現象） 【対策】 ・ 少量からの分割投与とし、血行動態を確認しながら使用 ・ 血圧および心拍数の連続的モニタリング ・ 必要時は昇圧薬等による循環管理を実施 ・ 異常時は速やかに投与中止および適切な対応を実施 （受付時間：平日 9:00～17:00）